

## 令和3年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：金沢学院大学

### 1. 事業の実績

#### (1) 事業目的

幼児教育の無償化に伴い、幼児教育の更なる質の向上が求められており、幼稚園教諭二種免許状を有する教員に対し、一種免許状への上進を努力義務とされている。石川県内の幼稚園および認定こども園等に勤務する幼稚園教諭及び保育教諭についても、幼稚園教諭二種免許状を有する教員の割合が高い。しかしながら、石川県内においては、2018年度まで上進のための免許法認定講習等が開設されていなかったのが現状である。

本事業は、石川県下における幼稚園教諭二種免許状を有し、一種免許状への上進を希望する者を対象に、社会や現場のニーズに応えた適切な講習を開発・実施し、石川県内における幼児教育の質的向上に貢献することを目的とする。

#### (2) 事業概要

本学は、2018年4月に保育士資格・幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状・中学校一種免許状（英語）を取得できる保育士・教員養成課程として、文学部教育学科を開設した。そのため、保幼連携や幼小連携に対応できる教員養成に長けた専門的知識を持った教授陣が配されている。

本学が所在する石川県においては、石川県私立幼稚園協会の調査によると、2019年の時点で幼稚園教諭二種免許状所有の現職幼稚園教員が100名程度いるとの結果であった。実際、2019年度及び2020年度の委託事業を活用した免許法認定講習を開講したところ、2019年度は23名、2020年度は24名の上進希望者が受講しており、うち22名については上進が適う見込みである。

2021年度も引き続き、県下の幼稚園教諭一種免許状への上進希望者のための講習を開発・実施したいと考えている。本学では、幼児教育の質の向上に資する幼稚園教諭の免許状の上進が適うよう、最新の教育事情を踏まえた免許法認定講習を開設する。

3年度目となる2021年度は、第2サイクルの1年目となり、2019年度と同様、5単位分の講習を開設する予定である。なお、募集定員については、過去2カ年の実績と、講習内容の質的向上も考え、30名とする。

上記の通り、石川県内で上進を希望する現職幼稚園教諭はまだ80名程度いると考えられる。しかし、本人や勤務園の事情もあり、全員が受講できるわけではない。多忙を極める現職の幼稚園教諭にとって、本事業による講習がより良い学びの場となり、また、自身のキャリアアップにも大きく貢献できる講習となるよう、今年度の開設科目については、免許状更新講習や私立幼稚園協会主催の研修プログラムとの相互実施による開講とし、教員研修、保育士のキャリアアップ研修等にも対応可能な講習として実施したいと考えている。

本事業を通じ、県下の幼稚園教諭に対する資質向上の機会の充実を図るとともに、現場の状況に応答した二種免許状所持者に対する上進講習の在り方について、内容及び効果的な実施方

法等を検証していくこととしている。

実施日程（実績）

実施時期	活動の内容		
	実施内容	評価	検討委員会
4月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会での意見を踏まえ講習を開発（開設科目の設定）</li> <li>・石川県私立幼稚園協会等と開催日程協議</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の現職教員が幼稚園教諭一種免許状を取得するための免許法認定講習の在り方の検討</li> <li>・免許更新講習との相互認定実施に向けた学内手続きの確認</li> <li>・免許更新講習及び石川県私立幼稚園協会主催研修との相互認定に向けた内容検討</li> </ul>
4月上旬～5月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許法認定講習等の認定申請（免許更新講習との相互認定として申請）</li> </ul>		
6月上旬～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講希望者への募集開始</li> </ul>		
7月～8月 7月24日 7月31日 8月10日 8月11日 8月16日 8月17日 8月25日 8月26日 8月28日 8月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 「保育内容『表現』の指導法」開講（於：金沢学院大学5号館講義室及び5号館保育実習室）</li> <li>2 「子どもの言葉と多様性」開講（於：金沢学院大学2号館講義室）</li> <li>3 「幼児教育教師学概説」開講（於：金沢学院大学2号館講義室）（一部遠隔授業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各実施講習の評価と省察を科目ごとに実施</li> </ul>	
2022年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者へ「学力に関する証明書」等の発送</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度開講に向け私立幼稚園協会等をはじめとする関連団体を通じ、受講者の意</li> </ul>

			向調査等の検討を実施
2022年2～3月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度実施講習の評価と省察を科目ごとに実施</li> <li>・次年度以降の取得希望状況等を確認し、開講科目及び内容の検討（受講ニーズの検討）</li> </ul>

### (3) 成果（事業の実績の説明）

#### 1. 本事業を活用して開設した講習

今年度については、昨年度までの10単位の開講を終え、受講生が上進のための単位を修得したため、新規の受講生を想定して3科目の開講を行った。開講科目は表1-1「開設実施科目一覧」の通りである。受講料は助成を受けることができたため、昨年同様1単位当たり5,000円での開講が叶った。定員は昨年度までの参加状況を反映し、各講座30名と設定した。石川県での新型コロナウイルス感染症の感染状況と講習効果を踏まえ、3科目とも対面にて講習を計画・実施した。ただし「保育内容「表現」の指導法」では受講者の要望で1日のみ個別にオンライン受講対応を行った。急遽オンライン受講となったため、演習に必要な教材は自宅や園であるもので準備していただいた。1日のみかつ1名だけのオンライン受講であったので対応できたが、やはり演習科目は対面での実施が望ましい。特に指導法に関する科目は保育実践に生きる講習内容を構想し、講習期間中にテーマに沿った保育実践をお願いし、その結果を持ち寄りさらに学びを深める形式であったためである。複数の受講者がその後、講習で扱った指導法を職場で実践して下さったことが事後アンケート結果から明らかになった。保育現場と本講習を往還して行う講習内容について一定の成果を得たと言える。

また、今年度に関しては、「幼児教育教師学概説」の初日を教員免許更新講習選択科目「子どもの学びを支える保育者の学びの世界」との同時開講として実施した。教員免許更新制との共催も適うことが確認できたが、教員免許更新制度が廃止されることを念頭に置くと、次年度以降は保育士等キャリアアップ研修等、各種研修との共同開講等が適うよう開講科目を認定させた上での開講を目指していきたい。

#### 2. 上記講座のそれぞれの受講者数（実数）

今年度の申込者は15名で、各講座の受講数は表1-2「各開設科目の受講者数」の通りである。新型コロナウイルスの感染拡大の影響や周知する期間が短かったことなどにより、設定した受講者数の半数にとどまったが、新型コロナウイルス感染症による影響から、やむを得ない参加者数であると考えている。

#### 3. 単位取得者数

各講習参加者全員が単位を取得した。

4. 本事業を活用して幼稚園教諭等一種免許状に上進した教員数

表2の通り、今年度幼稚園教諭等一種免許状に上進したものはいない。本事業は2サイクル目に入り、今回は1名を除き全ての受講生が新規の参加者であったためである。

表1 令和3年度金沢学院大学幼稚園教諭免許法認定講習開講科目一覧

1 開設実施科目一覧

新たに開設した講習科目名 (単位数)	講習内容
子どもの言葉と多様性 (1単位)	乳幼児期の子どもが豊かな言葉や表現を育む環境のあり方について、絵本や5歳から8歳頃の幼年期の子どもを対象とする「幼年童話」等子どものための読み物を中心に uptake、領域「言葉」の指導の基盤となる基礎知識を身につける。改訂された3法令を踏まえた上で、感覚を豊かにし、他者に対する共感と想像力を育む子どもの言葉の発達過程を理解する。また、多様性に関わる絵本や、問いのない問題を考える子どもの哲学絵本など、現代的な課題に関する子どものための読み物についても uptake、子どものことばについて多様な視点から考える術を理解する。
幼児教育教師学概論 (2単位)	幼児教育の重要性がエビデンスとともに明らかになる現代においては、幼児教育のあり方や意義が問い直される側面が存在する。従来の幼児教育や保育者の思考様式・行動様式について、教育思想や実践を再確認しつつ、これからの時代に求められる幼児教育・保育者像について、理解を深める。新しい時代に子どもに求められる資質・能力に関する理解を通じて、それを育む為に必要とされる保育者の資質・能力についても理解を深めていく。
保育内容「表現」の指導法 (2単位)	平成30年度実施幼稚園教育要領をはじめとする改訂された3法令の趣旨を理解し、領域「表現」について乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。「3つの資質能力」や「主体的・対話的で深い学び」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」などを踏まえて、豊かな感覚を育む表現活動から具体的な子どもの姿を uptake、子どもを多様な視点から考える術を理解する。

2 各開設科目の受講者数

講習科目名	受講者数	開設数
子どもの言葉と多様性	12名	1
幼児教育教師学概論	11名	1
保育内容「表現」の指導法	7名	1

表2 本事業を活用して幼稚園教諭等一種免許状に上進した教員数

今年度受講者数	経験年数12年以上の受講者	今年度上進者(単位充足者数)

15名	13名	0名
-----	-----	----

## 5. 受講者アンケート結果

本事業終了から約2か月後に、講習内容がその後仕事に活かされたこと等講習の効果や運営一般についての事後アンケートを実施した。受講者15名中9名より回答結果を得た（回答率60%）。アンケート項目に関しては、オンライン上で以下の項目を準備し任意の回答をお願いした。その結果を列記し、今後の課題の整理とする。

### (1) アンケート項目一覧

項目
<p>Q1. 免許法認定講習の受講動機について以下の選択肢より、該当する理由をお選びください。（複数回答可）（必須回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から2種免許状から1種免許状へ上進を考えていたため。</li> <li>・園長等の管理職より、受講するよう勧められたため。</li> <li>・自分自身の資質・能力の向上のため処遇改善・キャリアアップのため</li> </ul>
<p>Q2. 今後、本事業での単位修得者の皆様に対して、免許上進後1種免許状を取得後の勤務状況等の簡単な事後調査にご協力をお願いしたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「協力できる・協力できない」の二件法にて回答</li> </ul>
<p>Q3. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。（必須回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不満・やや不満・やや満足・満足・未受講」の五件法にて回答</li> </ul>
<p>Q4 受講された科目についてのご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目について自由記述による任意回答</li> </ul>
<p>Q5 オンライン受講に関してご自身の現在の受講環境状況をお教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「勤務園にてPCで受講可能・在宅にてPCで受講可能・勤務園および自宅に受講できる環境はない・PCを操作しての受講が不安である・WEBカメラやヘッドセット等の機器の貸し出しがあれば受講できる」の五件法にて回答</li> </ul>
<p>Q6. 申込や当日の運営等でお気づきの点がございましたら、お聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述による任意回答</li> </ul>
<p>Q7. 開講科目（講習内容や実施形態・実施時間等）に関して、ご意見等がございましたら、お聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述による任意回答</li> </ul>
<p>Q8 講習での学びが仕事に活かされたと感じた出来事があればお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述による任意回答</li> </ul>
<p>Q9 今後扱ってほしい講義内容や、保育を行う中で抱えている困難感があれば参考までにお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述による任意回答</li> </ul>
<p>Q10. 講習全体を通してのご感想や次年度の受講に向けてのご要望等をお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述による回答（必須回答）</li> </ul>

(2) アンケート結果

Q1. 免許法認定講習の受講動機について以下の選択肢より、該当する理由をお選びください。

自分自身の資質・能力の向上のため・処遇改善・キャリアアップのため	66.7 % (6)
以前から2種免許状から1種免許状へ上進を考えていた。	66.7 % (6)
園長等の管理職より、受講するよう勧められたため。	11.1% (1)

Q2. 今後、本事業での単位修得者の皆様に対して、免許上進後1種免許状を取得後の勤務状況等の簡単な事後調査にご協力をお願いしたいと考えております。ご協力いただけますでしょうか。

協力できる	88.9 % (8)
協力できない	11.1 % (1)

Q3. あなたが受講した科目の満足度についてお聞かせください。

「保育内容「表現」の指導法」

満足	5名
未受講	4名

「子どもの言葉と多様性」

満足	7名
未受講	2名

「幼児教育教師学概論」

満足	7名
やや満足	1名
未受講	1名

Q4. 受講された科目についてのご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。

「保育内容「表現」の指導法」

- ・実技を取り入れていた事で、保育の実践に繋がるヒントまた、様々な材料の応用方法を学べたと思いました。楽しみながら、学ぶことができました。
- ・いろいろな技法の絵の描き方や色の塗り方を教えて頂き、こどもたちにもいろいろおしえてあげることができ、よかったです。そして、自分で作った絵本を元に2学期は活動を広げることができ、よかったです。
- ・様々な材料や画法を学ぶことができ、手作り絵本を通してすぐに実践できたことがとても良かった。
- ・身近なものを使い楽しく学ばせて頂き、早速実践してみた所、子どもたちも私同様夢中になっていました。

### 「子どもの言葉と多様性」

- ・とくにありません。満足しています。
- ・言葉を育む事の意味を改めて学び直せた時間でした。自分自身言葉をもっと大切に使いたいと思ったし、こどもの言葉を引き出せる、広げるような言葉の使い方、伝え方が、重要になっていくと改めて感じた時間となりました。
- ・様々な絵本の必要性や、選び方を学ぶことができました。また、こどもの哲学のお話をもとに、私自身も子どもたちと、話し合いの場を大切にしたいと思い、今まで以上に話し合いの場を増やしたり、それぞれの意見に寄り添う気持ちを大切にしたいと思いました。
- ・アプリを使っでの意見交換はとても新鮮だった。子どもが「哲学」について考え話し合う姿がとても印象深かった。
- ・興味がないこと、知らないことに会った時は成長するチャンス！新しいことに興味を持ち関わりを持つことが大切と言うことが心に響きました。自身も知らない世界に飛び込み楽しもうと心境の変化が出てきました。
- ・迅速に保育実践しやすい学びや情報を得ました。

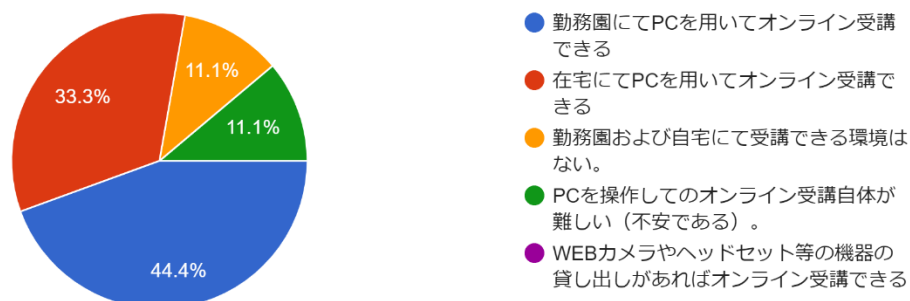
### 「幼児教育教師学概論」

- ・特にありません。満足しています。
- ・受講時間の中に、1人の人として、教師として、など色々な立場での、考え方やものの見方、など色んなためになる話が、組み込まれていて、楽しく受講する事ができた。自分の当たり前は、あたりまえではないことなど、教師としての、物事の捉え方のヒントを教えてくださいました。短い時間の中で、とても多くの事を学んだので、頭の中で整理するのに時間がかかりましたが、子どもたちと向き合う上で、大切にしてきた事は、間違いでは無かったと振り返りも出来て良かったです。
- ・今の社会の現状をもとにいろいろなお話をしてくださったので、だから、こうなんだ！ということをとくさん知ることができました！ちゃんと、どうしてこうなんだろう？ということを入れた物事には取り組まなくてはいけないと思いました。そして、人はいくつになっても変われるという先生のお言葉もはげみになりました。
- ・プレーヤーからリーダーになっていく為に必要な気持ちの持ち方、考え方、非認知能力の大切さを繰り返し様々な方向で学ぶことができました。
- ・幼児期における愛着習慣、非認知能力を培う大切さを学び、保育の役割、大切にしなければいけないことを学ばせてもらえた。
- ・内容がわかりやすく興味深いものだったので、保育に関する知識をさらに深めることができました。

教師の心持ちが改めて、正されるような、授業内容でした。 上進希望者だけでなく、保育現場を経験している免許取得者皆が、受講することで、子どもたちにとっての教師の環境が向上するような希望を抱きました。

Q5. オンライン受講に関してご自身の現在の受講環境状況をお教えてください。

オンライン受講に関してご自身の現在の受講環境状況...次年度開講形態の参考までにお聞かせ願います。  
9件の回答



Q6. 申込や当日の運営等でお気づきの点がございましたら、お聞かせください。

- ・オンライン開催やお手数とは思いますが振り替え授業があると助かります。
- ・夏に、かためでの受講が助かりました。7.8月に集中がよかった。6月末からでも、嬉しい。土曜日や、園の休みと重なって他の先生たちご迷惑をかけない日があったりもしたので、そこは、助かりました。年間の行事が決まっているので、申し込み時期は、もう少し早くして頂けたら嬉しい。申し込み期間が短いため、園の行事と重なると、参加できる人の人数が限られてしまう。受けたい人は、沢山いるのに、参加出来ない状況があった。
- ・とても丁寧に対応してくださりありがたく思いました。
- ・毎回、きちんと感染対策をして頂き、温かく迎えて下さり感謝でした。

Q7. 開講科目（講習内容や実施形態・実施時間等）に関して、ご意見等がございましたら、お聞かせください。

- ・今年度同様8月開催が参加しやすい。
- ・8月の開催が参加しやすい。
- ・講習は3年目になります。できれば前年度になかった科目が今年度あるとありがたかったです。

開講科目が、増えるとありがたい。コロナの心配もあつたりで、2年間全部参加出来ればいいが、逃すといつとれるか分からないので

- ・夏期時期に集中して下さってありがたいと思いました。
- ・夏休み以外の土日なども利用し、年度内に取得が可能になると良いと感じました。
- ・夏季保育中に実施していただいただけ良かったです。
- ・オンラインでの講習がほとんどの中、対面で実施して下さったことがとても有り難かったです。講師の方にその場で質問ができたり、他園の先生方と交流したりできるのは、対面ならではだと思いました。夏期の実施は、勤務にもあまり支障がないので良かったです。



Q8. 講習での学びが仕事に活かされたと感じた出来事があればお聞かせください。

- ・知識の再確認ができた。
- ・自分のしてきた事は間違いがなかったんだと再認識しました。
- ・自分自身の気持ちの持ち方が、軽くなり、前向きになったと感じる。絵本制作を通じて、子どもと向き合っていく大切さを感じられた。改めてこどもの目線に立つ大切さをまなんだと思う。私の役割について、明確になったと思う。
- ・どの講習でも先生方は私たちの意見を否定することなく寄り添ってくださっていました。私自身も子どもたちのどんな意見でもしっかりと寄り添う大切さを感じました。様々なことを学ぶことで実践してみたい！という気持ちが沢山もつことができました！
- ・お誕生会で使用する大型絵本を作成することになり、教えて頂いた絵本作りの方法を役立てることができた。
- ・表現の指導方法はすぐ実践しました。身近なものを使って行え、子ども達も夢中になり取り組んでいて楽しかったです。
- ・職場の教師が客観的に見えるようになったと感じます。子どもたちのことを語ったり、悩んだりしている職場の先生たちと話す際に、聞き入れる幅が広がり、子どもたちのためになるアドバイスを伝えやすくなった。

Q9. 今後扱ってほしい講義内容や、保育を行う中で抱えている困難感があれば参考までにお聞かせください。

- ・時代は、変わっていつている。私たちが、感じている常識と、今の常識と考え方の違いなど。そして、その対策について。保護者対応、教師同士との関わりなど。なかなかこのようにじっくりと学ぶ機会がないので、どんなことでも、新しく感じたり様々なことを振り返ったり考えたりすることができたので、どんな内容でもありがたいです。
- ・絵本作りのような実践のある講習はぜひまた取り入れて頂きたいです。こだわりのある子またその保護者の方との関わり方は、日々困難を感じます。
- ・発達の気になる子ども、障害のある子どもの接し方に悩んでいます。
- ・幼稚園教諭のコーチングにつながるような、情報を得て、学びたいです。
- ・一概には言えませんが、幼稚園教諭一級取得者の中で、小学校教員を目指して学んだことに胸を張り保育を進める教師が、上から指示の言葉が強く、自分の保育観や子ども観に他の風を入れようとしなない姿に困難を感じます。

Q10. 講習全体を通してのご感想や次年度の受講に向けてのご要望等をお聞かせください。

- ・現状で満足しています。受講できるだけありがたく思っています。開講していただいて、ありがたく思っています。仕事の都合でなかなか短期間での取得が難しいのですが、継続して下さることで、諦めずに受講しようと思っています。また、よろしくをお願いします。

講習はとても勉強になり、一緒に受講した先生達の意見や話しを聞く機会も得られ、貴重な時間でした。

・コロナ対策もしっかり取って頂き大変ありがたかったです。私自身、園の関係で、急遽、Google meet で、受講させていただいたり柔軟に対処していただき、感謝しております。ありがとうございました。

・様々な対応がとても丁寧でよかったと思います。 はやく、のこりの講習を受けたいと思います。

・講師の先生方、スタッフの方々には、大変お忙しい中、またコロナ禍でも対策をしながらも開講して頂き感謝します。参加されていた他の園の先生方との情報交換やコミュニケーションも毎回の楽しみの一つでした。少人数での受講だからこそその貴重な時間だったと感じます。本当にありがとうございました。来年度もよろしくお願い致します。

・良い先生方にご指導いただき ありがとうございました。

・講習の内容がとても興味深く、自分の保育を根本から見直す良い機会となりました。また、人数も多すぎず集中して受講することができました。まだ必要な単位が取得できていないので、来年度もぜひ受講したいと思っています。ありがとうございました。

#### (4) 今後の課題・展望

受講者数を増やすという観点では、講習への募集期間が短いことが課題である。行事との重なりや休暇調整が間に合わず申込を見送る場合があると把握している。また、遠隔受講の在り方も引き続きの検討課題である。

公募事業への申請によって開講する場合、今年度もまた、コロナ禍での公募事業としての開講の可否や実施する場合でのオンライン開講等の是非について、学内での検討のみならず、受講生へのオンライン環境等の確認もあり、検討・調整・準備に時間を要した。特に、オンライン開講やオンデマンド開講には、配信側の環境が整っていても、受信側の環境が整っていないことが事前への受講生調査にて明らかになった。受講希望者の世代によっては、デジタルデバイドが存在するため、オンライン開講にあたっては受信環境の整備（例えば、幼稚園団体にて受信環境としての会場を提供していただき、遠隔受講環境を整える等の対応）も必要になる状況が継続して想定された。双方向性は失われるがオンデマンド配信等、受講者の受診環境が整う時間や場所を選んで受講できる体制や、対面と遠隔のハイブリッド型等も引き続き検討していく。特に、今年度は、開講期間にある程度間隔を設けて受講する開講科目があったことから、講習での学びを実践現場にて確認、実践した後、再度、講習にて学びを深めるというサイクルを生み出すことができた側面も存在する。次年度の開講に際しては、学びと実践の往還を意識した開講を対面・オンラインを問わず検討していきたいと考える。

参加者からは6月末から8月にかけての開催希望の声が多数挙がっている。次年度も当該期間での開講を目指すとともに、私立幼稚園協会等との連携のもと早い時期から募集をかけられるよう努力したい。